



## 謹んで新年のごあいさつを申し上げます

各地区会員の皆様、県教職員課・総務福利課の皆様、福利厚生団体他関係者の皆様、旧年中のご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。今年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

あらゆる意味で例年と違う日々をお過ごしのことと思います。感染症の爆発的な拡大によって、社会が、日常が大きく変わりました。これから先も、予想しがたい大変動があるかもしれません。一方、休業や自粛が続く中で、人が人と会うこと、画面上ではなく直に会うことの大切さを実感するようになりました。また、何もかも「今は特別」で済ませるのではなく、本当にそれでいいのか、目的や手法を深く考えることが大事だとも感じています。

私たちの未来に、見通せない不安がますます大きくなってきました。しかし学校が、子どもたちにとって、生活し出会い成長していく場であり続けるのであれば、そのために力を発揮することで、より大きな存在感を示すことができる、「学校に在って(あって)こそ学校事務職員」なのではないかと思えます。

今年も、支援室や市町村・各地区の学校事務職員会等で情報共有・連携が進められるように県事協の事業を着実に進めて参りたいと考えております。昨年、残念ながら中止とさせていただいた現状報告会も、充実した内容で開催できるように準備を進めています。様々な制約や状況の急変も十分に予想されますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

インフルエンザ等も含めて、感染症が流行しやすい季節です。皆様のご健康ご多幸を祈念申し上げます。どうぞご自愛ください。

県事協会長 福崎真澄



## 謹賀新年

### 第3回評議員会報告

11月24日(火)鹿児島市中央公民館にて、第3回評議員会を開催しました。

冒頭に会長があいさつを行いました。その中で、コロナ禍にありながらも、県費事務改善検討委員会をはじめ、一定の活動を行うことができ、次年度の事業計画について中間報告をするところまでこぎつけたこと。今年度開催を断念した現状報告会を、一人職場の学校事務職員にとって、顔を合わせる大切な機会と位置づけ、是が非でも開催すべく可能性を探っていること。県費事務改善検討委員会の各委員の推薦等、生み出す大変さはあるけれども、連帯して活動を進めていくためには、各地区にお願いするしかなく、いつもご協力いただいていることに大変感謝していることなどをお伝えしました。

協議では、まず、今年度の事業計画の進捗について、県費事務改善検討委員会のマニュアル等更新作業状況、マニュアル更新に伴う印刷サービスや県事協CD整備の計画、県事協アンケート集計結果等を報告し、質疑応答・意見交換を行いました。

次に、次年度の事業計画について、基本的に今年度事業を継続する方針で策定を進める旨、説明いたしました。評議員の皆様から様々なご意見をいただきましたので、3月評議員会で提案する計画策定に生かしていきます。

最後に、次年度予算編成について、今年度の執行状況、次年度事業計画を踏まえ、一人あたりの会費を年額1,400円とする予定であることを提案いたしました。特に異論は出されませんでしたので、提案した内容に沿って予算編成を進めていきます。

今回の提案等について、各地区で協議・検討していただければと思います。

### 活動経過及び予定

11月24日	理事会・第3回評議員会
12月24日	ホームページ更新
1月15日	理事会・第3回常任委員会
2月下旬	県事協マニュアル学校到着予定
3月2日	理事会・第4回評議員会

## 各地区の事務職員会等の紹介

### 北薩地区から

#### 薩摩川内市学校事務職員協議会の紹介

##### ・薩摩川内市について

薩摩半島の北西部に位置し、南は鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、上甑・中甑・下甑島で構成される甑島区域で構成されています。東シナ海に面した変化に富む海岸線、市街を流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとする緑豊かな山や湖、各地の温泉など、様々な自然環境を有しています。これらの多彩で美しい自然環境は、川内川流域県立自然公園、蘭牟田池県立自然公園、甑島国定公園に指定され、人々に親しまれています。

##### ・薩摩川内市学校事務職員協議会について

協議会は川内・東部・上甑・下甑の4ブロックを1つの組織で運営していましたが、研修会だけがそれぞれのブロックに分かれて実施されてきました。2018（平成30）年度に川内・東部が合同の研修会となり、2019（令和元）年度に甑島地区を含めた市全体での研修会を実施することになりました。

甑島地区の事務職員の方々には負担となりますが、分散会や開催日を週末に設定するなどの対応を行っています。本年度も年間11回の研修会を計画し、そのうちの6回が甑島地区と合同の研修会で、5回が分散会となります。市教委の予算説明会が4・9・2月に開催されますが、その際は研修会も併催しています。現在のところ未実施ですが、例年1泊2日の研修視察も実施しています。研修内容は、各支援室の状況報告と輪番でのレポート発表、開催時期に応じた事務処理に関する全体研修、県事協・地区協議会からの連絡事項などです。

また、協議会の重要な役割として市教委との協議があります。予算執行や施設整備に関する事項を中心に、各事務職員からの質疑・要望等の調査を実施し、教育総務課へ回答の依頼と役員との協議を行っています。扶養手当等の受給権の確認について明文化を図るために規程等の文言整理も実現しました。協議会は、学校配当予算とは別に執行する、教材消耗品の共同購入の集約も行っています。潤沢な予算ではありませんが、少しでも保護者負担の軽減につながるよう取り組んでいます。

教育委員会との連携も、研修会の実績の積み重ねも、これまでに多くの方々が尽力された成果です。貴重な資産を今後引き継ぐためにも、事務職員間の連携を図りながら、取り組みを継続したいと思います。



蘭牟田池



川内川と太平橋



ナポレオン岩

# 鹿児島県教職員福祉事業連絡会からのお知らせ

鹿児島県福祉事業連絡会とは、教職員のための福利厚生事業を行っている、下記の5つの団体で構成する連絡会です。

- ☆公立学校共済組合鹿児島支部
- ☆鹿児島県教職員互助組合
- ☆鹿児島県教職員共助会
- ☆鹿児島県学校生活協同組合
- ☆教職員共済鹿児島県事業所

教職員の皆様が、学校・職場で安心して働くために、ご自身の健康管理や病気をした場合の給付、冠婚葬祭時のお祝い金や弔慰金、人生の将来設計のための各種保険（共済）などの福利厚生事業を行っています。



## 学校生協からのご挨拶



新年おめでとうございます。  
今年も学校生協をよろしく願いいたします。

昨年は新型コロナウイルスに振り回された一年でした。全教職員が感染者、濃厚接触者と判断された曾於市内の学校の事例など、一定空間の中で、否応なしに過ごさざるを得ない学校での感染予防の難しさと予防対策をしっかりしないといけないことを改めて感じさせられました。早く安全なワクチンが開発され接種できることを望むばかりです。

昨年、県事協会員の皆様には学校生協事業運営にご協力いただきありがとうございました。また、たくさんの事業をご利用いただき、合わせて感謝申し上げます。

令和3年の学校生協は、組合員の生活支援と働き方支援を中心に事業を行います。これまでの事業にプラスして何かできないかなど新たな工夫もしていきます。指定工場でKGCカードを利用による8%割引、ミズノマスクの販売、共同購入、引越料金優待割引制度のサカイ引越センターとの提携、組合員の住宅新築、マンション購入、リフォームなど提携住宅会社と連携して住宅取得のサポートなど継続して行います。それらの情報はいつでもどこでも見られるようにスマホ対応のホームページで確認できます。お得な情報をお探してください。

福利厚生事務センター、教育用品ともども本年もよろしくお願い致します。

### 県事協ホームページの更新(ちょこちょこやってます)

大体2か月に1回の更新が基本のペースとなっています。1か月に1回程度が理想なのですが、自前のサーバーがないため、HP更新のデータを外部サーバー管理者へ送付し、更新作業をしてもらわねばならず、頻度が上がらないところがあります。御理解のうえ、ちょこちょこ閲覧していただければ幸いです。

ホームページアドレス

[http://www.kyojo.jp/kenjikyuu/top\\_screen.html](http://www.kyojo.jp/kenjikyuu/top_screen.html)

## 一般財団法人 鹿児島県教職員互助組合



住所：鹿児島市照国町 11-35  
電話：099-225-4555 FAX 099-222-7750

## LINE公式アカウント

### はじめました！



互助組合からのお知らせなどの情報をタイムリーにお届けします！

トーク画面から宿泊利用補助券  
WEB申請やモバイル会員証の  
表示など便利に使えます！



ぜひ友だち登録してください！

### 友だち登録方法

- ① ホーム画面で友だち追加マークをタップ
- ② 友だち追加画面でQRコードを選択
- ③ 右のQRコードをスキャン
- ④ 追加 ボタンをタップ



### 編集後記

新年を迎えても出口の見えないコロナ禍。そんな中、私の一太郎に対する食わず嫌いには出口が見えて参りました。いいね♪一太郎。なにごとも、知らないということは良からぬ偏りを生むものですね。新コロのこともできるだけ正しく知り、正しく恐れつつ、この災禍をみんなで無事乗り切れることを強く願う今日この頃です。

そんなことを考えながらぼんやりしていても、県事協だより122号を無事発行できるのは、原稿を提供して下さった薩摩川内市学校事務職員協議会、互助組合、学校生協の皆様のおかげです。ありがとうございました。 國